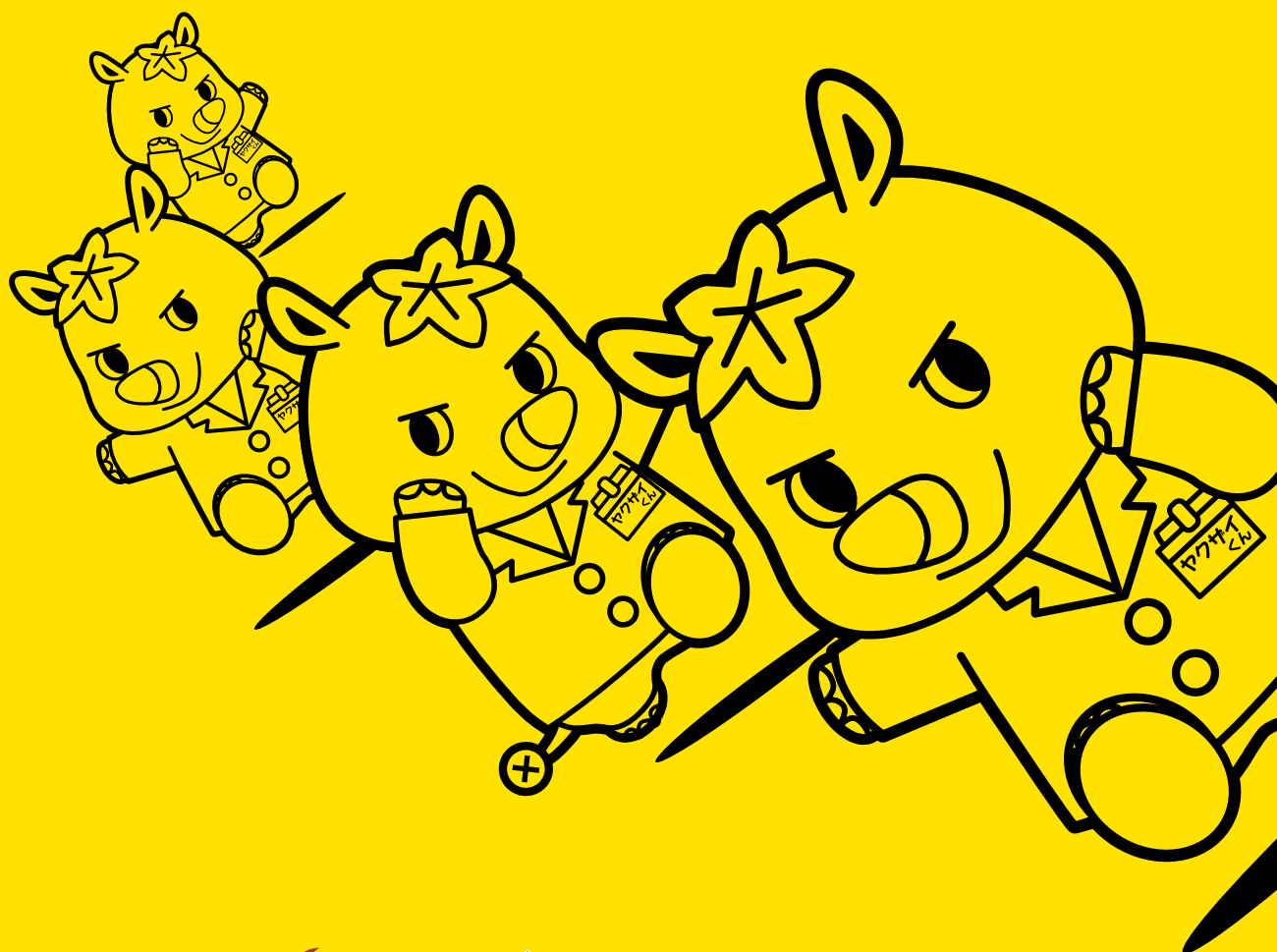


ジェネリック医薬品

使用推進

サポートブック



広島県



(公社)広島県薬剤師会

■ 目次

■	はじめに	01
■	Part1 意向確認時における工夫	03
■	Part2 説明時における工夫	
	キーワード 品質, 効能, 安全性	05
	キーワード 安さ, 医療費削減効果	07
	キーワード ジェネリック医薬品の強み, 特徴	09
	キーワード 不安の解消	11
	キーワード 保険制度の維持, みんなのために	13
	キーワード オソーライズドジェネリック	15
■	Part3 使用を断られた患者に再度お勧めする際の工夫	17
■	おわりに	21

■ はじめに

後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進については、2017年6月の閣議決定において、「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」と定められており、広島県でも2017年度に策定した第3期広島県医療費適正化計画において、同様の数値目標を設定し取組を進めています。

広島県におけるジェネリック医薬品使用割合は年々増加しておりますが、全国平均と比べると低く、更なる取組の強化が求められているところです。

ジェネリック医薬品の使用促進は、日頃から患者に最も身近で接しておられる薬局の皆様のお力なくしては実現できません。

このサポートブックが皆様の活動をサポートするものとなることを期待しております。

広島県健康福祉局医療介護保険課・薬務課

「患者さんに安心できる医療を」この思いは全ての医療従事者に共通の思いのことと思います。

特に、薬剤師には、薬物療法の適正化において大きな期待が向けられているところです。

単に価格の安い医薬品へ切り替えるという考えにとどまらず、より良い薬物療法を提供する視点から今一度ジェネリック医薬品について考えていただき、薬局としてジェネリック医薬品使用促進に貢献していることを示す結果を発信していけることを期待しています。

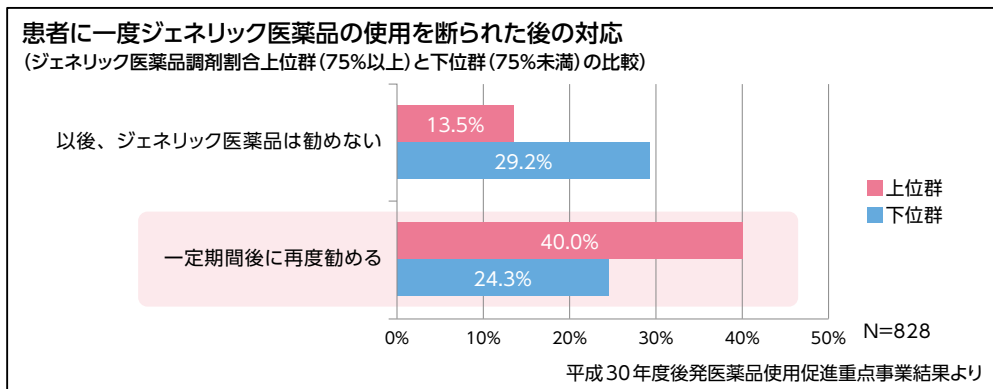
公益社団法人広島県薬剤師会

■ このサポートブックについて

広島県では、「平成30年度後発医薬品使用促進重点事業(厚生労働省委託事業)」において、県内各薬局に対して「後発医薬品の使用促進に向けた調査」を実施しました。

この調査結果から、ジェネリック医薬品の使用割合が高い(ジェネリック医薬品調剤割合が75%以上)薬局と低い(ジェネリック医薬品調剤割合が75%未満)薬局とでは、初回に患者がジェネリック医薬品を希望しなかった場合のその後の対応に大きな違いがあることが分かりました。

ジェネリック医薬品の使用割合が高い薬局は、患者に対して繰り返しジェネリック医薬品の使用を勧めている!



患者に対してジェネリック医薬品の使用を繰り返し勧めることは、ジェネリック医薬品の使用促進に有効と考えられます。

調査ではこの他にも患者とのやりとりにおける工夫について事例を収集することができました。

これらの工夫例を広く紹介するために、このサポートブックを作成しました。

お手元に置いていただき、ジェネリック医薬品の使用促進に活用していただければ幸いです。

Part 1

意向確認時における工夫

「後発医薬品」「ジェネリック医薬品」という言葉自体は、広く知られるようになっています。

ここでは、**スムーズな意向確認**がポイントとなります。

(1) 初回質問票を活用しましょう

初めて来局した患者に対する**初回質問票**における設問を工夫することで、ジェネリック医薬品使用に係る意向確認をスムーズに行うことができます。

例えば、次のような設問が考えられますが、いくつかのパターンを試してみて、よりスムーズな意向確認が行えるものにしていくと効果的です。

問 ジェネリック医薬品への変更を希望しますか

➡ 希望する or 希望しない



聞き方、回答の文言の表現を変えてみることで、よりスムーズに意向確認を行うことができます。

問 ジェネリック医薬品をお勧めしていますが、同意いただけますか

➡ 同意する or 同意しない

(2) 各種啓発資料を活用して事前に知ってもらいましょう

薬局内に各種ポスター、リーフレットを配置することでジェネリック医薬品の認知度が更に高まることが期待できます。

繰り返しアピールすることが重要です。

〈参考(厚生労働省作成資料一例)〉



ポスター



リーフレット



動画資料

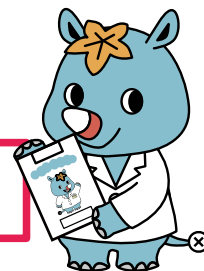
(YouTube 厚生労働省動画チャンネルより)

(3) 啓発グッズを活用して意向確認をサポートしましょう

初回質問票を記入する際に、ジェネリック医薬品に関する情報提供を自然な流れで行えるよう、専用バインダーを作成・配布しています。

ジェネリック医薬品使用に係る意向確認に是非活用してください。

ジェネリック医薬品について、会話やQ&Aの形式で分かりやすく説明しています。



(4) 他にもこんなポイントがあります。見逃さないようにしましょう

- ・保険証に「ジェネリック医薬品希望シール」が貼られていたり、保険証と一緒に「ジェネリック医薬品希望カード」を持っている患者も多いため、必ず確認する。
- ・お薬手帳を確認すると他科の処方では本人が知らない間にジェネリック医薬品を使用していることがあるため、同様に使用してみることを勧める。



Part 2

説明時における工夫

キーワード



品質、効能、安全性

安いってことは品質に問題があるからじゃないの？

ジェネリック医薬品は先発医薬品よりも効き目が悪い気がするなあ。

ジェネリック医薬品が安いのは原料が安いからでしょ？



ポイント

Point!

- ・ジェネリック医薬品の使用は特別なことではないことを伝える。
- ・近年はかなり普及しており、多くの方(少なくとも7割以上)が使用していることを伝える。
- ・(薬剤師にとっては当たり前に見えるかもしれないが)改めて品質、効能、安全性が同等であることをしっかりと伝えるなど、細かな説明を心がける。
- ・先発品と後発品の両方を見比べてもらって説明する。
- ・患者の利用する医療機関のジェネリック医薬品採用状況を事前に収集しておき、院内、入院ではどのジェネリック医薬品が使われていたかを紹介する。
(22ページ 参考2の①参照)
- ・先発医薬品と見た目やサイズがあまり変わらないものや、使用するメーカーを薬局で吟味し、価格だけで採用しないよう心がける。

フレーズ例

患者にジェネリック医薬品の品質、効能、安全性を伝えるためのフレーズ例です。

医薬品には薬の溶け方や効き目の評価に細かな決まりがありますが、先発医薬品と同じ基準でチェックされて作られてるんですよ。

効き目は全く変わりません！

先発医薬品と同じ工場で作られてるものもあるんですよ。

ジェネリック医薬品が安いのは、先発医薬品と比べて、研究開発に必要なコストを削減できるからなんです。



〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的フレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 2

説明時における工夫

キーワード

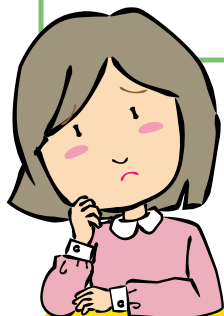


安さ、医療費削減効果

ジェネリック医薬品に変更しても(1回で)〇〇円しか安くならないじゃない。

自己負担割合が変わって、医療費が高くなってしまったわ。

具体的にいくら安くなるのかしら？



ポイント

Point!

- ・ジェネリック医薬品に切り替えた場合、どれくらい安くなるかを具体的に示す。
- ・短期間での削減額ではなく、一年間など、ある程度長いスパンで比較するとより効果的となる。
- ・価格差の比較を簡単に説明できる表を作成しておくが良い。
- ・価格差の計算にはレセコンに搭載された機能を活用すると良い。

フレーズ例

患者にジェネリック医薬品使用による自己負担や医療費の削減効果を伝えるためのフレーズ例です。

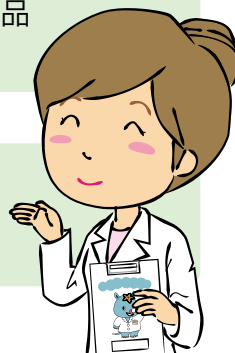
1年で**円くらい安くなりますよ。
(1回分ではなく、1年間など、なるべく長い期間で示す)

〈ジェネリック医薬品がまだ発売されていない医薬品について〉
この薬もジェネリックが発売されたらさらに安くなりますよ。

〈経済的メリットだけを理由に変更していると思われるのが嫌そうな患者に〉
(すべての説明が終わった後に)ちなみに**円くらい安くなります。

〈保険の負担割合が変わった人に〉
今日から自己負担割合が高くなりますが、ジェネリック医薬品だと価格を安く抑えられますよ。

医療費として〇〇円安くなります。そのうち、自己負担は◇割なので、△△円ですね。(大きな金額から示す)



〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的フレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 2

説明時における工夫

キーワード



ジェネリック医薬品の強み、特徴

子どもには良いものを使いたいから、先発医薬品の方が良いな! ▶

値段が安くなるだけなら興味ないなあ…。 ▶



なんとなく、先発医薬品の方が良いような気がするわ。 ▶



ポイント

Point!

- ・ジェネリック医薬品ならではの工夫(飲みやすい形状、味の工夫)について説明する。
例) 子どもに飲みやすい味付けをしている。飲み込みやすくするためにサイズを小さくしている。等
- ・安いというだけでなく、どのようにして作られているか、工夫された剤形や味など、飲みやすさが考えられているのか等も説明する。

〈ジェネリック医薬品における製剤上の工夫の一例〉

工夫例	強み・説明
風味の工夫	苦みをマスクしたり、小児の好みの風味をつけたものなどがある。 「苦みをおさえたものがありますよ」
OD錠の追加	飲み込むことに苦労している場合に服薬が容易になる 「口の中で溶けるから、飲みやすいですよ」
錠剤の小型化	小型化により服薬が容易になる 「小さいサイズのものもありますよ」

一方、包装の色や見た目を先発医薬品と大きく変えずに、慣れ親しんだ医薬品からの変更への抵抗感を減らす工夫をしたものもあります。

フレーズ例

患者にジェネリック医薬品の強みや特徴を伝えるためのフレーズ例です。

※左ページのような患者の不安を解消(参考 11ページから14ページ等)した上で、次のフレーズを用いると効果的です。

〈子どもの薬を受け取りに来た保護者に〉

イチゴ味で飲みやすいメーカーのものでご用意しますね。

〈高齢の方に〉

この薬のほうが小さくて飲みやすくなってますよ。

この薬のほうが口の中で溶けるので、飲み込みやすいですよ。

〈介護にあたる方に〉

錠剤に薬の名前が書いてあって、何を飲んでいるのか分かりやすくなっていますよ。



〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的フレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 2

説明時における工夫

キーワード

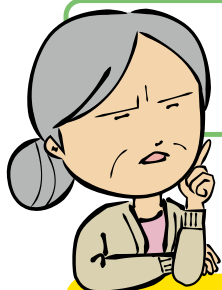


不安の解消

今まで使っていた医薬品から変えるのは不安だよ。



先発医薬品とは添加物が違うのが不安だよ。



ポイント

Point!

- ・変更を希望しない場合には、その理由をしっかりと聞き、不安の解消につなげていく。
- ・まずは試してもらい、やはり先発医薬品の方が良いと思えば次回先発医薬品に戻せることを説明する。
- ・切り替えは1種類ずつ可能であることを伝える。
- ・「添加物」という単語を用いると、マイナスに受け止められることがあるので、「固めるための材料」などと表現を工夫する。また、それらの材料には効能がないことも同時に伝える。
- ・医師の処方内容を変えてしまっているような印象を与える表現は用いない。

〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

フレーズ例

患者のジェネリック医薬品に対する不安を解消するためのフレーズ例です。

過去にジェネリック医薬品でお困りになったことがあるんですか？
(→具体的に聞いてみると、漠然とした不安であることも多いため、丁寧な説明で説得するチャンス)

〈添加物に不安を持っている方に〉

有効成分以外の成分は、特別なものではなく、他の先発医薬品でも使われている一般的なものですよ。

次回、元に戻すこともできますので、遠慮なく言ってください。

お試しで少しだけジェネリック医薬品で調剤することもできますよ。
(「分割調剤(後発品の使用)」について説明)

うちの薬局はこのジェネリック医薬品を使っている人のほうが多いんですよ。



〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的なフレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 2

説明時における工夫

キーワード



保険制度の維持、みんなのために

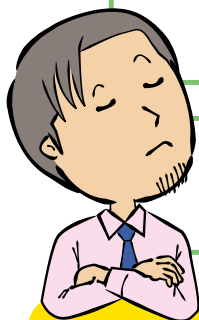
乳幼児は医療費が無料だから関係ないんじゃないの？



自分が医療費を払うんだから、少し高くても構わないよ。



どうして薬剤師が医療費のことをとやかく言うの？



ポイント

Point!

- ・医療保険制度の維持のために皆が協力する必要があることを伝える。
- ・医療費と自己負担の差額部分に該当する、保険者が負担する9割、8割、7割の費用には大きな影響を与えることを説明する。
- ・初回質問票(3ページ(1))にジェネリック医薬品使用促進は国の方針であることを記載する。
- ・先発医薬品かジェネリック医薬品かを選ぶ形ではなく、ジェネリック医薬品で調剤してよいか同意を求める形で聞く。
- ・高齢の患者には、医療制度が孫の代になると大変な負担になっていくおそれがあることを伝える。

〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

フレーズ例

患者に保険制度の維持の重要性を伝えるためのフレーズ例です。

〈国保・後期高齢者の人に(ジェネリック医薬品の差額通知が届いているので)〉

今、医療費が大変なことになっているのを御存知でしょうか？
皆様一人ひとりの積み重ねが医療費の確保にもつながるんですよ。

今日の医療費の残りは加入されている保険から出ているんですよ。

〈薬剤師がジェネリック医薬品を勧めることに疑問を示す方に〉

医療費を適正に使って、皆様に良い医療を提供し続けることも薬剤師の仕事なんです。

〈乳幼児医療など、公費負担の対象者に〉

医療費の助成は、お住まいの自治体が負担しています。
医療費の削減は健康保険料や税金の負担軽減にもつながるんですよ。



〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的フレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 2

ジェネリック医薬品の説明時における工夫

キーワード



オーソライズドジェネリック

先発医薬品と成分が全く同じでないというのは不安だなあ。



知らないメーカーの薬は信用できないよ。



ポイント

Point!

- ・先発品を希望している場合には、オーソライズドジェネリック医薬品を勧めてみる。
- ・オーソライズドジェネリック医薬品は先発医薬品と同一原薬、同一製法で作られており、添加物も同じであることを説明する。

〈オーソライズドジェネリック (AG) とは〉

有効成分のみならず、原薬、添加物、製法等が先発品と同一であるジェネリック医薬品を指す (Authorized=承諾を受けた)。

	企業	有効成分	原薬製造	添加物	製法	製造所	名称
AG薬α	先発医薬品メーカーと契約関係	同じ	同じ	同じ	同じ	異なる	異なる
AG薬β	先発医薬品メーカーの完全子会社	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	異なる

※厚生労働省作成資料より

フレーズ例

患者にオーソライズドジェネリック医薬品の説明を通じてジェネリック医薬品使用を勧めるためのフレーズ例です。

先発医薬品と全く同じものなんですよ。

先発医薬品と全く同じものなんです、パッケージが違うだけでお薬代も安くなるものをご用意できます。

〈「ジェネリック医薬品」という言葉に抵抗を抱く方に〉
分類上は後発医薬品ですが、先発医薬品と同じものなんです。

同じ会社・同じ工場で作られてるんです。

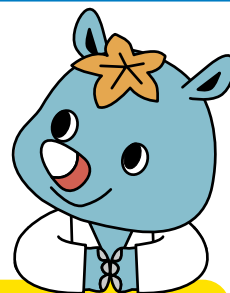


〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的フレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 3

使用を断られた患者に 再度お勧めする際の工夫



ポイント
Point!

まずはここをチェック!!

- お薬手帳等によって、入院中や他科受診時の医薬品使用状況を確認すると、意外とジェネリック医薬品を使用している例は多い!
- どうしてもジェネリック医薬品に抵抗がある患者にはオーソライズドジェネリック医薬品について説明することが有効である可能性は高い!



ポイント
Point!

- ・数か月後に別のスタッフから勧める。
- ・患者の負担割合が変化したタイミングで再度勧める。
- ・ジェネリック医薬品やオーソライズドジェネリック医薬品が新たに発売されたタイミングで再度勧める。
- ・お薬手帳を確認して、入院時にジェネリック医薬品が使用されていた場合にはそのことを説明し、引き続きジェネリック医薬品を使用してよいか確認する。
- ・お薬手帳を確認して、既にジェネリック医薬品が使用されていた場合にはそのことを説明し、引き続きジェネリック医薬品を使用してよいか確認する。
- ・処方の内容が変わったタイミングで再度勧める。

〈思いついたフレーズをメモしておきましょう〉

フレーズ例

一度は断られた患者に再度勧めるためのフレーズ例です。

(お薬手帳を見ながら)

〇〇病院でジェネリック医薬品を飲んでおられますね。
こちらでも同じようにご用意しますね。

(お薬手帳を見ながら)

◇◇(ジェネリック医薬品)を飲んでみて、特に不都合なかったですか？
不都合なければこちらでも同じようにご用意します。

その他のフレーズ例

しばらくお勧めしていなかった患者に勧めるためのフレーズ例です。

〈新たにジェネリック医薬品が発売されたタイミングで〉

△△(医薬品名)もジェネリック医薬品でご用意することができますように
なりました。

〈添付文書改訂のタイミングで〉

安全性に関する情報が集まってきたので、▽▽さんにも安心してお使い
いただけると思います。



※掲載されているものはあくまでもコミュニケーションにおける具体的フレーズの一例です。あらゆる状況において正しくあてはまる情報ではないことに留意してください。

Part 3

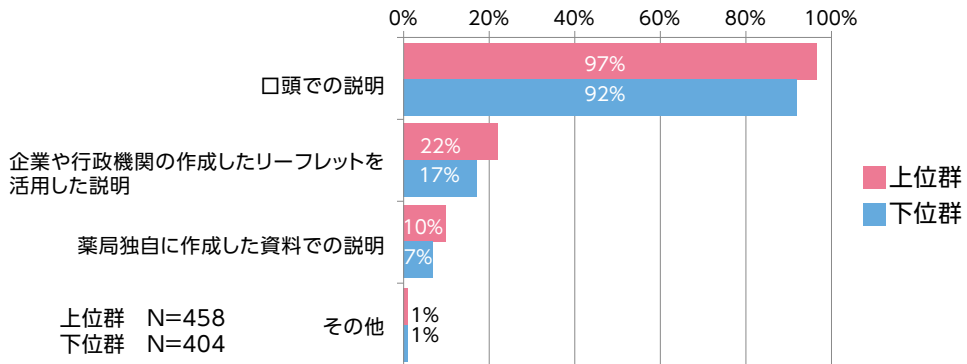
使用を断られた患者に再度お勧めする際の工夫

ジェネリック医薬品の使用をためらう患者においては、漠然とした不安を抱えている例が多く、しっかりとコミュニケーションを重ね、不安を取り除くことが重要です。
繰り返しの声掛けには効果が期待できます。

テクニックよりもタイミング!!

患者にジェネリック医薬品を勧める方法

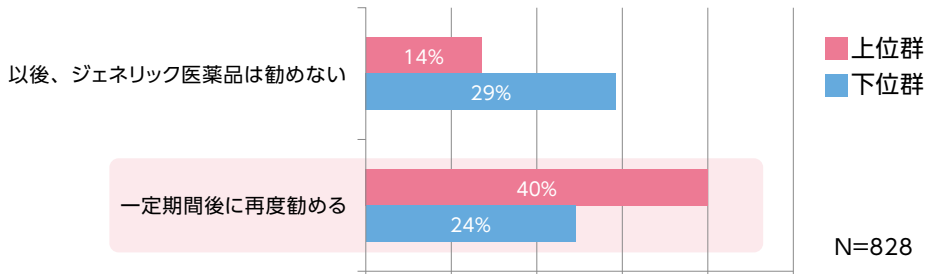
(後発医薬品調剤割合上位群(75%以上)と下位群(75%未満)の比較)



勧める手法には大きな違いは見られない。

患者に一度ジェネリック医薬品の使用を断られた後の対応

(後発医薬品調剤割合上位群(75%以上)と下位群(75%未満)の比較)



上位群では繰り返しお勧めしている。

いずれも平成30年度後発医薬品使用促進重点事業結果より

いまさらですが…

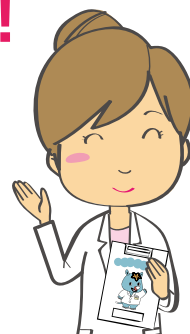


患者は薬剤師からの声掛けを待っています!

「後発医薬品」「ジェネリック医薬品」という言葉や、医療費削減効果といった良い点を知っていても、今まで使ってきた薬から切り替えるきっかけがない患者もいます。

薬剤師の一言で切り替えのきっかけを作ってあげましょう。

まずは
「**待ちの姿勢**」から
「**攻めの姿勢**」に切り替えて、
積極的な声掛けを!!!



■ おわりに ～患者へのアプローチのその先に～

ジェネリック医薬品の使用促進においては、患者への働きかけの他に**医療機関、医師との連携が非常に重要**となります。

すでに様々な場面で連携されていることと思いますが、ジェネリック医薬品使用促進のための連携例についてご紹介します。

① 定期的な情報交換

- ・定期的に医師と面会し、一般名処方の実施の意向を確認する。
- ・よく使用されている先発医薬品について、まだ採用していないジェネリック医薬品があれば、変更してよいか定期的にかがう。

② 患者情報のフィードバック

- ・患者からジェネリック医薬品切り替えに関する要望があれば、その内容を処方医に伝える。
- ・種々の方法(お薬手帳への記載やFAX、文書等)により、患者の服薬状況について報告する(ジェネリック医薬品への切り替え直後に、適切にフィードバックすることで、品質への信頼性が高まることが期待できる)。

③ ジェネリック医薬品に関する情報提供

- ・ジェネリック医薬品の品質に関する情報を積極的に提供する。
- ・特徴のあるジェネリック医薬品について、その情報を提供する。
- ・オーソライズドジェネリック医薬品が発売されているリスト等を処方医に提供する(この取組により、処方箋における後発医薬品切り替え不可のチェックが外れることがある)。
- ・オーソライズドジェネリック医薬品に関する情報提供を積極的に行うことで、医師からも患者に説明を行うことが期待できる。



(参考1)相談窓口

団体名	窓口名称	電話番号	受付時間
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構	おくすり相談窓口	03-3506-9457	平日
			(土曜日、日曜日、 祝日及び年末年始を除く)
			9時～17時
公益社団法人 広島県薬剤師会	薬事情報センター お薬相談電話	082-567-6093	平日
			(土曜日、日曜日、 祝日及び年末年始を除く)
			10時～12時、 13時～15時

(参考2)広島県ホームページ(ジェネリック医薬品に関する情報を掲載)

①広島県内基幹病院のジェネリック医薬品採用リスト

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/59/1311829626634.html>

広島県ホームページ

トップページ > 組織で探す > 健康福祉局 > 薬務課 > 後発医薬品採用リスト



広島県 後発医薬品リスト で検索

②ジェネリック医薬品啓発ページ

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/56/generic-medicine.html>

広島県ホームページ

トップページ > 組織で探す > 健康福祉局 > 医療介護保険課 > 家計にやさしいジェネリック医薬品を使ってみませんか?



広島県 ジェネリック で検索



初版 令和2年3月
第2版 令和2年12月



患者さんに
積極的な声かけを!

広島県薬剤師会
マスコットキャラクター
ヤクザイくん